

ご挨拶

山口県スキー連盟会長
中 村 克 巳

爽秋の候、皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。今年こそは、積雪に恵まれ、コロナ感染も落ち着き、良いスキーシーズンを送ることができる事を強く期待しております。

さて、山口県のスキー連盟の課題ですが、

1. ジュニアスキーヤーの発掘
2. 全年齢のスキーヤーの増加
3. 競技役員の高齢化に伴う人手不足の対応対策
4. 連盟の財政面の改善 の4つがあります。

ジュニアスキーヤーの発掘という点では、ジュニア向けの行事はコロナ感染の観点で、できかねますが、ヤング世代にはチャレンジジュニアの行事を行います。これは、スキーをやっているヤング世代が、スキーがうまくなる、技術・能力の向上をめざし更にスキーを好きになるための行事です。知人のお子さんでスキーをする方には、行事の紹介・勧誘を行っていただきたいと思っております。スキーヤーの発掘という点では、会員のお子さん、お孫さんや知人のお子さんをスキーに連れ出す事、また、昔のスキー仲間を誘ってスキーに出かけていただくなど、地味ですが各個人の力を期待します。

さらに、競技役員が高齢化しており、また人数不足にもなってきていますので、競技部教育部の区別なく、今年もより一層、全員で対応していただきたいと思っています。財政面では、行事ではかなりの節約ができておりますので、連盟の活動に協賛していただける企業を増やす事が一番のように思います。会員の皆様には、このどれか一つで良いので、できる限り貢献していただければと思っています。今年ばかりでなく、来年も、再来年も同じです。よろしくお願ひします。

会員の方には、一昨年より、述べていますが、スキーに対する情熱と楽しかったことをもう一度思い出して、皆さんにはしっかりスキーを楽しんでいただきたいと思っております。

最後になりましたが、来るシーズンが天候に恵まれ、良いスキーシーズンが遅れるように祈念し、また各行事にご支援を賜っている関係各位に対し、心からの感謝の意を表しご挨拶といたします。